

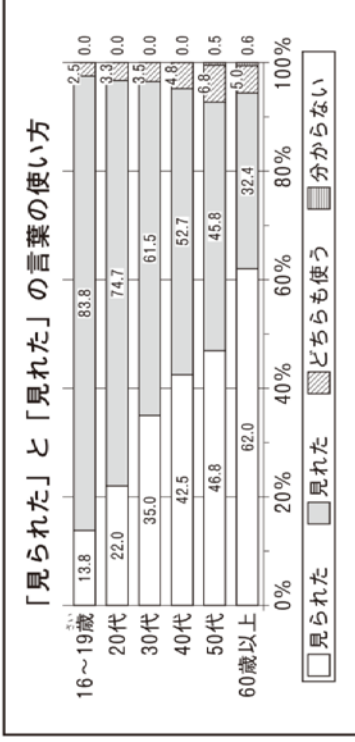
③ 四年資料から分かったことを書く

名前

年 組 番

高木さんは、言葉の使い方について考えるために、次の【資料】から分かったことをノートにまとめました。【ノートの一部】を読んで、あとの問いに答えましょう。

【資料】



（文化庁「平成22年度国語に関する世論調査」による。）

【ノートの一部】

〈年代ごとのわり合から分かること〉

- 16歳から19歳までのわり合では、「見れた」が「見られた」を大きく **ア**。
- 20代、30代でのわり合においても、16歳から19歳までのわり合と同じようであることが分かる。
- 50代でのわり合は、「見られた」と「見れた」の差が1ポイントで、ほぼ同じである。
- 60歳以上のわり合を比べると、「見られた」が「見れた」を **イ**。

〈全体から分かること〉

16歳から60歳以上までの「見られた」と「見れた」のわり合のちがいをまとめると、

ウ

～（内容が続く）～

（問い）【ノートの一部】の **ア** ・ **イ** ・ **ウ** の中にはどのような内容が入りますか。ふさわしい内容をそれぞれ書きましょう。ただし、**ウ** は、「見られた」と「見れた」の二つの言葉を用いて、四十字以上、五十字以内で書きましょう。（書き出しの言葉は、字数にはふくみません。）

・ア

・イ

・ウ

16歳から60歳以上までの「見られた」と「見れた」のわり合のちがいをまとめると、

◆

40字
50字

※◆の印から書きましょう。とちゅうで行を変えないで、続けて書きましょう。
※数字は、20 のように1ますに書きましょう。

③ 四年資料から分かったことを書く	年	組	番
	名前		

(問) 「フートの一部」の **ア**・**イ**・**ウ** の中にはどのような内容が入りますか。ふさわしい内容をそれぞれ書きましょう。ただし、**ウ** は、「見られた」と「見れた」の二つの言葉を用いて、四十字以上、五十字以内で書きましょう。(書き出しの言葉は、字数にはふくみません。)

【正答例】

・ア **上回っている**

・イ **上回っている**

・ウ 【正答例】

16さいから60さい以上までの「見られた」と「見れた」のわり合のちがいをまとめると、

年代が上がるにつれて
「見れた」を使うわり
合よりも「見られた」
を使うわり合が大きく
なることが分かる。

50字

学習指導にあたって

「見られた」と「見れた」のわり合のちがいをまとめるように示されているので、「見られた」と「見れた」の両方の言葉を使って、どう違つのかを書けているでしょうか。

提示された資料から何が分かるのかを洗い出すこと、また分かったことを端的に整理するという学習(要約する)について、国語科で学習したことが他教科にも反映されるよう、丁寧に取り組みましょう。